

政策シート

(政策名) 森林管理を通じた環境対応社会への貢献
(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	----------	-----	--------	-------	-------

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	86,948	145,724				
決算	70,673					
人件費(A)	82,580	63,560				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	153,253	209,284				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
FSC認証林面積	ha	目標	45500	48900	49200	49500	49800	50100
		実績	48542					
FSC認証材生産量	m ³ /年	目標	103000	111000	119000	127000	135000	143000
		実績	R2.9頃					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

FSC森林認証制度の更新・拡大等を通じて、持続可能な森林整備・管理及び天竜材のブランド化を推進する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・適切な森林整備・管理により、FSC認証林面積は目標を達成することができた。	
・「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針」に基づき、公共建築物へFSC認証材を積極利用するなど、FSC認証材の生産量も年々増加している。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)					8,888	8,528		0.1			
2	森林・林業施設管理事業					37,990	35,170	0.3	0.2			
3	森林管理事業	〇〇〇				40,410	3,510	4.5	1.5			
4	治山事業					44,511	34,711	1.4				
5	森林保護事業					44,765	32,485	1.6	0.3			
6	森林経営管理推進事業	〇〇〇				32,720	31,320	0.2				
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						209,284	145,724	8.0	2.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、啓発事業等を行う。

◇事業の概要

・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
 市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域林業活性化センター、静岡県山林協会、浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会 など)。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	8,430	8,528				
	決算	8,430					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	8,430	8,528				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	360				
人工	正規	0.1					
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

負担金を支援している団体は、市民の森林・林業に対する理解増進を目的とした啓発事業等を行い、持続可能な都市の実現等に寄与している。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
実績値	1,804	2,827					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する。

- ・天竜流域林業活性化センター
- ・静岡県立森林公園運営協議会
- ・奥浜名湖自然休養林保護管理協議会
- ・静岡県山林協会
- ・みなとモデル協議会
- ・静岡県水資源造林協議会
- ・浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
各施設の運営等に対する助成を行い、参加者の森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
- ・浜北森林公園(自然体験プログラム参加者数):2,662人
- ・天竜流域林業活性化センター(活動推進班活動参加人数):165人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を注視し、金額の算定等を精査して支出した。
- ・事業の統合・再構築を行い、「浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会」への負担金は本事業の一部とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を精査し、適切な負担金額の算定の見直しと対象団体との調整を行う。

事業シート (事業名) 森林・林業施設管理事業

◇事業目的・事業対象

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

◇事業の概要

- ①指定管理施設の管理事業
林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の9森林交流施設の維持管理。
- ・舞阪町民の森
 - ・三方原防風林、観音山水源の森
 - ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、市民の森、野鳥の森(トイレ)
 - ・木質ペレット製造施設

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,606	35,170				
	決算	11,572					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,572	35,170				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		5,980	2,820				
人工	正規	0.7	0.3				
	再任用(h31)	0.3	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的とした事業は、持続可能な都市の実現等に寄与している。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間利用人数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2,700	2,800	2,800	2,850	2,900	2,950	3,000
実績値	2,367	2,622					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①指定管理施設の管理事業
林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の9森林交流施設の維持管理。
- ・舞阪町民の森
 - ・三方原防風林、観音山水源の森
 - ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、市民の森、野鳥の森(トイレ)
 - ・木質ペレット製造施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①指定管理施設の管理事業
天竜林業体育館年間利用人数:2,622人
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
市民が安全に森林と触れ合うことができるように、所管する9つの森林交流施設等を適切に維持管理した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・天竜林業体育館は、新たに令和1年度～令和5年度の5か年間の指定管理期間で更新した。引き続き管理は、周辺の4施設と一体管理としていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和2年度に野鳥の森のトイレ等展望台施設、木質ペレット製造施設は解体撤去工事を行い、以降管理運営をしない方針である。

・施設の老朽化や市民ニーズの低下により利用人数が減少している施設について、施設のあり方を検討する。

令和2年度

(管理番号)
01 02 06 01 001728000 03

(担当課)
林業振興課

(責任者)
袴田 雄三

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 森林管理事業

◇事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

◇事業の概要

【R1-R4 重点戦略項目No.52、164】

①森林認証推進事業

ア 天竜林材業振興協議会(市、県、国、市内森林組合等で組織)に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)

イ 公共物件におけるプロジェクト認証審査料

ウ グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための講演会等経費)

②市有林管理事業

ア 市有林の間伐、下草刈等

イ 市有林を活用したCSR活動の推進

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,503	3,510				
	決算	2,798					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,416	2,614				
	一般財源	1,382	896				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		46,040	36,900				
人工	正規	5.6	4.5				
	再任用(h31)	1.9	1.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1,11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④ 教育	○ 4.1,4.2	⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理を推進する事業は、SDGs(持続可能な開発目標)に合致するものである。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	
FSC森林認証面積 (ha)					I-1(1)Ⅰ	I-1(1)才	R1~R4 52
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	45,000	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
実績値	45,270	48,542					
FSC認証材生産量 (m ³ /年)					-		51
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95,000	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
実績値	67,392	R2.9㍎					
年間間伐実施面積 (ha)					-		164
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値	2,456	R2.11㍎					
木材・木製品製造業 製造品出荷額 (億円/年)					I-1(1)Ⅰ	I-1(1)才	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	356	450	300	300	350	400	450
実績値	R2.8㍎	R3.8㍎					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4 重点戦略項目No.52、164】

①森林認証推進事業

- ア 天竜林業振興協議会に対する負担金 (FSC森林認証更新審査料負担金)
- イ 船越小学校のFSCプロジェクト認証取得のための審査手数料
- ウ グリーンレジリエンス推進事業 (普及・啓発のための事業経費)

②市有林管理事業

- ア 市有林の間伐、下草刈等の整備
- イ 市有林を活用したCSR活動の推進

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

①森林認証推進事業

- ア 適切な森林管理により、FSC森林認証面積を48,542haまで増加
- イ 船越小学校のFSCプロジェクト認証取得推進
- ウ グリーンレジリエンス推進 (ジャパンホームショーへの出展、天竜材のふるさと見学ツアー開催等)

②市有林管理事業

- ・下平山市有林風倒木整理等実施
- ・市有林を活用したCSR活動の推進 (小堀谷市有林をフィールドに「しずおか未来の森サポーター制度」に基づく協定締結企業が森づくり活動を実施)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・グリーンレジリエンス推進のため、他の事業と関連してFSC調達宣言を行った企業や環境意識の高い企業との連携による事業を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も引き続き公共物件のFSCプロジェクト認証取得を推進するとともに、小中学校への木製学童机・椅子の導入を、教育施設課とともに進めていく。
・今後もFSC森林認証面積の拡大を進めていく。

補助シート (事業名) 森林管理事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
52	森林認証推進事業 ・天竜林材業振興協議会に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金) ・公共物件におけるプロジェクト認証審査料	森林認証推進事業 ・天竜林材業振興協議会に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金) ・公共物件におけるプロジェクト認証審査料	森林認証推進事業 ・天竜林材業振興協議会に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金) ・公共物件におけるプロジェクト認証審査料	森林認証推進事業 ・天竜林材業振興協議会に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金) ・公共物件におけるプロジェクト認証審査料
164	森林認証推進事業 グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための事業経費)	森林認証推進事業 グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための事業経費)	森林認証推進事業 グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための事業経費)	森林認証推進事業 グリーンレジリエンス推進事業(普及・啓発のための事業経費)

事業シート (事業名) 治山事業

◇事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

◇事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	28,192	34,711				
	決算	14,073					
	国・県支出	5,933	19,074				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	8,140	15,637				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,800	9,800				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

治山事業により林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
地元要望に基づき県単独補助金を活用した治山工事(予定箇所)の着工率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①県単独補助治山事業

- ・佐久間町大井(西渡) 落石対策
- ・水窪町地頭方(向島押沢柱戸) 水路工

②市単独治山事業

県営治山事業関連・施設修繕等その他治山工事、立木伐採補償費等

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画どおり事業を執行し、山地崩壊地の復旧や山地災害を未然に防ぐことができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

計画に基づいた事業を執行し、山地災害を未然に防止していく。

事業シート (事業名) 森林保護事業

◇事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

◇事業の概要

①防風林等被害対策事業(H30年度まで「松くい虫等被害対策事業」)

三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業

造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

③(新規)野生鳥獣出没緊急対応事業

野生鳥獣出没による市民等の不安を解消するため、委託業者が追い払いや注意喚起等を迅速に行い、地域の安心・安全を確保する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病虫害等	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	19,939	32,485				
	決算	19,522					
	国・県支出	495	524				
	市債						
	その他						
	一般財源	19,027	31,961				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		18,660	12,280				
人工	正規	2.1	1.6				
	再任用(h31)	1.1	0.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

森林保護事業により森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
松くい虫被害木の被害率(三方原防風林・舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	1.36	0.98					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>①松くい虫被害対策事業 三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を実施。</p> <p>②カモシカ被害対策事業 造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息状況や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を実施。</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 遅れている</p> <p>①松くい虫被害対策事業 浜北森林公園周辺・舞阪町民の森(薬剤散布)、三方原防風林ほか(被害木の伐倒駆除) 伐倒材積:276m³</p> <p>②カモシカ被害対策事業 カモシカ個体数調整(71頭)、被害実態調査(39箇所)、生息密度調査、野生動物対応報奨金</p>

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・松くい虫被害に薬剤散布・樹幹注入・伐倒駆除等により対応しているものの、被害拡大スピードに追い付いていないのが現状である。
- ・平成30年度から浜北区・天竜区においてニホンザル等の出没が増加し、市民などから通報により現場出動による追い払い、注意喚起等の職員負担が増大している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・松くい虫被害木への対策を継続するとともに、災害対策として松枯れ・巨木化した木を伐採・剪定工事を実施し、防風林機能の維持を図る。
- ・カモシカによる森林被害を抑制するため、計画どおりに個体数調整を実施していく。
- ・野生鳥獣出没緊急対応業務を委託により実施する。

令和2年度

(管理番号)
01 02 06 01 001728000 06

(担当課)
林業振興課

(責任者)
袴田 雄三

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 森林経営管理推進事業

◇事業目的・事業対象

適切に管理されていない森林に対して所有者の同意を得て経営管理権等を設定し、意欲と能力のある林業経営者に森林経営管理を委ねることで、林業の成長産業化及び適切な森林整備を図る。

◇事業の概要

【R1-R4 重点戦略項目No.53】

①森林管理意向確認等調査業務

- ・森林所有者への経営管理意向調査・確認
- ・経営管理権集積計画策定
- ・計画対象の森林所有者同意取得
- ・経営管理権集積計画の告示、経営管理権の設定

②浜松版森林経営管理事業

- ・林業経営に適した森林を「意欲と能力のある林業経営者」に再委託し、経営管理実施権を設定
- ・林業経営に適さない森林を浜松市自らが経営管理

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	-	一般会計	自治事務(その他)	森林経営管理法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	14,278	31,320				
	決算	14,278					
	国・県支出						
	市債						
	その他	14,278	31,320				
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	○ 12.2,12.7,12.8
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.6	⑮陸上資源	○ 15.1,15.2,15.4
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

森林経営管理法施行に伴い、森林を適切に管理していく本事業は、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
FSC森林認証面積 (ha)					I-1(1)工	I-1(1)才	52
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	45,000	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
実績値	45,270	48,542					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
森林経営計画 累計認定面積 (ha)					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	17,200	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
実績値	18,354	21,083					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
森林管理システム調査面積 (ha)					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		180	240	240	360	360	360
実績値		161					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①森林管理意向確認等調査業務
- ・森林所有者への経営管理意向調査・確認
 - ・経営管理権集積計画策定
 - ・計画対象の森林所有者同意取得
 - ・経営管理権集積計画の告示、経営管理権設定

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①森林管理意向確認等調査業務の実施
- ・天竜地域 調査面積 32.15ha 森林所有者数 9人
 - ・春野地域 53.75ha 18人
 - ・龍山地域 42.38ha 44人
 - ・引佐地域 32.33ha 25人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・当初調査対象地域を6地域、森林面積180ha、森林所有者600人を想定して業務委託設計をしたが、入札結果を含め実数は、4地域160.61ha、96人となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・財源となる森林環境譲与税が年々増額されるため、財源に見合った事業量に拡大する。
・令和元年度から開始された制度であるため、森林所有者や森林組合等関係事業者へより丁寧な説明に努める。

補助シート (事業名) 森林経営管理推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
53	①森林管理意向確認等調査業務	①森林管理意向確認等調査業務 ②浜松版森林経営管理事業	①森林管理意向確認等調査業務 ②浜松版森林経営管理事業	①森林管理意向確認等調査業務 ②浜松版森林経営管理事業